

“スペースシャトル・アトランティス号(STS-117)のミッション状況”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

★ミッションは順調に進行中

スペースシャトル・アトランティス号(STS-117)は、6月9日午前8時38分にNASAケネディ宇宙センター(KSC)から打ち上げられました。

打上げ後、スペースシャトルのロボットアームの動作確認中に、左舷の軌道制御システム(OMS)ポッド後方上部の耐熱ブランケット1枚がめくれていることが確認されました。NASAは、アトランティス号の帰還に問題がないか評価・検討を行い、6月12日に、船外活動で修理することを決めました。

飛行2日目にセンサ付き検査用延長ブーム(OBSS)を使用した熱防護システムの点検などを行い、6月11日午前4時36分に国際宇宙ステーション(ISS)にドッキングしました。

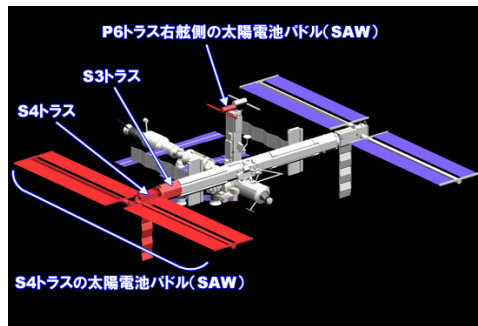
6月12日午前5時02分から6時間15分におよぶ第1回船外活動が行われ、S3/S4トラスがISSに取り付けられました。

また、NASAは、ドッキング期間を2日延長し、4回目の船外活動を行うことを決定しました。船外活動の内容は今後決定されます。

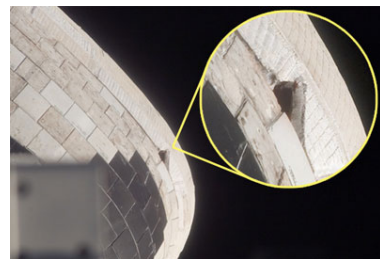
STS-117ミッションの最新情報は以下のホームページをご覧ください。

<http://iss.jaxa.jp/iss/13a/> (JAXA: 日本語)

http://www.nasa.gov/mission_pages/shuttle/shuttlemissions/sts117/ (NASA: 英語)



STS-117ミッション終了後のISS



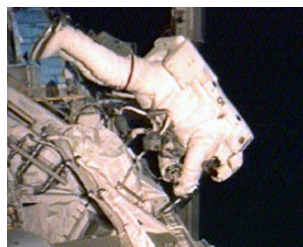
めくれた耐熱ブランケット



打上げ(飛行1日目)



ISSへのドッキング(飛行3日目)



第1回船外活動(飛行4日目)



めくれた耐熱ブランケットのおよその位置(赤い丸印)

(写真は全てNASA提供)

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

★最初のISS構成要素打上げから3126日経過しました

★第15次長期滞在クルーのISS滞在は63日経過しました

★ISS動向

第15次長期滞在クルーのフョードル・ユールチキン、オレグ・コトフ両宇宙飛行士は6月6日、ふたりにとっては5月31日に続き2回目となる船外活動を行いました。5時間37分にわたる船外活動では、「ズヴェズダ」(ロシアのサービスモジュール)へのデブリ防護パネル12枚の取付けや、「ザーリャ」(基本機能モジュール)へのイーサネットケーブルの敷設などを行いました。



第15次長期滞在クルーとISSに到着したアトランティス号のクルー(提供: NASA)

また第15次長期滞在クルーは、アトランティス号(STS-117)の到着準備を整え、ISSに到着したクルー7名を迎え入れました。ユールチキン、コトフ両宇宙飛行士は、アトランティス号がドッキング前にISS下方で行ったランデブ・ピッチ・マヌーバ(縦方向に360度回転)中に、ISSからアトランティス号の熱防護システム(TPS)の損傷を検査するための写真撮影を行いました。

ISSに到着したクレイトン・アンダーソン宇宙飛行士は、スニータ・ウィリアムズ宇宙飛行士と交替し、正式に第15次長期滞在クルーとして約4ヶ月間のISS滞在を開始しました。ウィリアムズ宇宙飛行士はアトランティス号に搭乗して帰還します。



船外活動で軌道上デブリ防護パネルを取り付けるコトフ宇宙飛行士(提供: NASA)

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。